

The Japan Association of Radiological Technologists
ネットワーク・ノウ

Network

Now

2023 No.571

7/1

JART情報
<https://www.jart.jp>

発行所 公益社団法人日本診療放射線技師会
〒108-0073 東京都港区三田1-4-28
三田国際ビル22階
TEL. 03-4226-2211 FAX. 050-3153-1519



第86回公益社団法人 日本診療放射線技師会定時総会 開催される (Web併催)

2023年6月10日(土)午前10時より、第86回定時総会が日本診療放射線技師会事務所会議室において、Web会議システムを併用して開催されました。代議員の出席確認ならびに投票は、Web会議システムを用いたオンラインによる方法で行われました。また総会傍聴者向けにYouTubeでも中継配信されました。

園田優理事により総会次第に沿って進められ、富田博信副会長による開会宣言に続き、上田克彦会長からあいさつがありました。続いて令和4(2022)年度物故者に対して、出席者全員で黙とうをささげました。

総会運営委員会山本英雄委員長から委任状ならびに議決権行使書の数について報告があり、定款第18条に基づき本総会の成立が告げられました。また総会議事規程第13条第2項に基づき、小林功代議員(新潟県)、柳澤直樹代議員(長野県)の2人の議長立候補者があり、賛成多数で承認されました。続く総会職員任命についても賛成多数で承認されました。

報告事項として、令和4(2022)年度事業報告、決算報告、監査報告、ならびに令和5(2023)年度事業計画、予算について、執行部・監事から報告がありました。

審議事項として、議長の議事進行により3つの議案が審議されました。第1号議案「会費等納入規程改正(案)について」では、

出産・育児に関する会費免除について具体的に規定する改正案について、江藤芳浩副会長から説明がありました。また第2号議案「北村善明元会長の名誉会員について」では、職能団体の代表理事としての確に対応された功績について、上田会長から説明がありました。第3号議案「会計監査人の選任について」では、現任の会計監査人任期終了による新たな会計監査人の選任について、小川清監事から説明がありました。いずれの議案も賛成多数で承認されました。

最後に、児玉直樹副会長より閉会の辞が述べられ、本定時総会は無事に終了しました。

本総会の詳細な内容は、会誌6月号の第86回定時総会資料ならびに会誌に掲載予定の第86回定時総会議事録(抄)をご参照ください。



厚労省医療課長宛てに診療報酬改定に関する 要望書を提出

2023年5月12日(金)に、本会上田会長、診療報酬政策立案委員会江端委員長、上島事務局長の3人が厚生労働省保険局 眞鍋医療課長を訪問し、「令和6年度診療報酬改定に関する要望書」を提出しました。要望内容は1.「報告書管理体制加算」の対象範囲拡大について 2.「医療画像表示用ディスプレイの医療機器化と管理」の評価について 3.「小児等への腹部骨盤部単純X線検査 被ばく説明」の評価について 生殖腺防護に関する説明加算の追加——の3点です。詳細については会誌などに掲載させていただく予定です。また第39回日本診療放射線技師学術大会の委員会シンポジウムでも、アンケート内容を含めて報告させていただきます。

眞鍋課長からは、個別要望内容について、他団体との意見調整や現場での実際の状況などについて質問を頂き、要望の個別項目は今秋に向けて内容を精査すると述べられました。眞鍋課長とは面会2日前の第544回中央社会保険医療協議会(中医協)総会会場でもごあいさつさせていただいたところで、対面早々に打ち解けた雰囲気の中での会談となりました。従来より1カ月早い要望書の提出にこぎ着けられたのも、会



員諸氏の診療報酬に対するアンケート回答への積極的協力と、委員各位の迅速な対応のたまものでした。

今後は、2年ごとの診療報酬要望の取りまとめといった作業ではなく、長期的視点に立って2回先、3回先の診療報酬改定に向けた要望の作成を積み上げる委員会活動を進めてまいります。

2023年度 第2回理事会 開催される (Web併催)

2023年5月13日(土)午後2時より、2023年度第2回理事会が日本診療放射線技師会事務所において、Web会議システムを併用して開催されました。冒頭に上田会長のあいさつがあり、各地で発生している地震について、会員からの被害報告はないものの、安全には十分に気を付けて対応や業務に当たっていただきたいと述べられました。

主な議題は、「令和4(2022)年度事業報告」「令和4(2022)年度決算報告」「放射線取扱主任者定期講習業務規程諸規程見直し」「事務局長の選任」などでした。

上田会長からは、令和4(2022)年度の主な事業総括の説明がありました。告示研修実技研修修了者が目標の101.5パーセントの達成を厚生労働省に報告したこと、クリニカルラダーを用いた生涯教育システムの運用を開始したこと、事務局における業務効率の向上のための勤怠管理や決済の電子化を試行していること、日本医学会総会2023への共同出展、業務拡大に関係した医学会などと協力し、安全ガイドライン作成の準備を行ったことなどの報告がありました。またチーム医療推進協議会代表として中央社会保険医療協議会の専門委員に任命されたことについての報告もありました。

園田理事からは、庶務報告の詳細が説明され、いずれも承認されました。

江端業務執行理事からは、令和4(2022)年度決算報告がありました。正味財産増減計算書に基づき、執行実績の説明がありました。既卒の免許保有者入会による入会金の増額や、告示研修などの委託費用や会費納入代行手数料が増加している旨の補足があり、承認されました。

江藤副会長からは、放射線取扱主任者定期講習業務規程諸規程見直しについて説明がありました。監督官庁である原子力規制庁の指導があり、規程改正が必要であるとの報告があり、承認されました。

上田会長からは、事務局長の任期終了に伴う選任経過の説明ならびに事務局長候補者の略歴紹介があり、賛成多数で承認されました。

報告事項としては、小川利政監事から令和4(2022)年度期末監査報告がありました。また5月12日(金)に厚生労働省医療課長に提出した「令和6年度診療報酬改定に関する要望書」について上田会長から説明がありました。その他、地域理事、各委員会などから34項目の報告があり、資料と共に共有されました。最後に、園田理事より今後のスケジュールが確認され、本理事会は終了しました。

詳細は、本会会誌に掲載される2023年度第2回理事会議事録(抄)をご参照ください。

本会前監事の新開英秀氏、春の園遊会にご出席される

2023年5月11日(木)、港区の赤坂御苑で春の園遊会が開催されました。令和になってからは初めてとなる5年ぶりの開催となりました。今年の春の園遊会は、新型コロナウイルスの感染状況を踏まえて招待者を絞った結果、出席者は例年の半数程度の1,000人ほどのことで、両陛下や皇族方はマスクを着用され、女性の皇族方は色とりどりの和服姿で会場を彩られました。残念ながら時折雨が強く降る中での開催となりましたが、スピードスケートの高木美帆さん、ノーベル化学賞を受賞した吉野彰さん、車いすテニスの国枝慎吾さんと共に、本会前監事の新開英秀氏(2006(平成18)年秋・瑞宝双光章受章)も出席されました。ここに謹んでお慶び申し上げます。



第39回日本診療放射線技師学術大会 情報交換会開催について

INFORMATION

公益社団法人日本診療放射線技師会 会長 上田 克彦
第39回日本診療放射線技師学術大会 大会長 西小野 昭人

すがすがしい初夏を迎え、木々の緑も日増しに深くなってきました。皆さま、いかがお過ごしでしょうか。さて、新型コロナウイルス感染症も5類へと変更したことを受けまして、第39回日本診療放射線技師学術大会において情報交換会を開催する運びとなりました。ホームページに情報交換会の詳細と参加登録フォームを掲載致します。第39回日本診療放射線技師学術大会の参加登録と併せて、ぜひお申し込みいただき、参加いただきたくご案内申し上げます。時候不順の折、どうかご自愛専一にお過ごしくださいませ。

第39回日本診療放射線技師学術大会 情報交換会

- 日 時：2023年9月30日(土) 午後6時30分より
- 会 場：熊本ホテルキャツスル
- 募集人数：300人程度(先着)
- 参加費：8,000円(金額は消費税込み)

*詳細は学術大会専用ホームページ(<https://jcrt39.secand.net/>)をご確認ください。



本会への入会手続きについて(お知らせ)

INFORMATION

ホームページからでも、書類でも・・・本会への入会は、次のいずれかの方法によりお手続きいただけます。

- 1 本会ホームページ(<https://www.jart.jp>)から“新規入会”をクリック
- 2 書類のご提出

書類のご提出によるお手続きの場合は「申込書」を本会事務局までご請求ください。

TEL：03-4226-2211 E-mail：info@jart.or.jp

ぜひ周りの非会員の方に、お知らせください。

告示研修 開催報告

茨城県

公益社団法人茨城県診療放射線技師会 教育委員 田子谷 佳加

2023年5月13日(土)、茨城県では第6回の告示研修(実技)を開催致しました。会場は前回と同じ茨城県立医療大学をお借りして開催しております。午前の講義、午後の実習と部屋を分けることで、午前のビデオ視聴中に実習エリアの準備が可能であること、実習エリアを広く設けられること、使用する物品の運搬や終了後の片付け(ごみ廃棄)などを考慮し、本年度の残り4回も本会場で実施予定です。

また本県では1回の実技研修を、ファシリテーター2人、スタッフ1人を追加し、13人に対応しております。回数を重ね



ることでファシリテーター、スタッフも慣れてきたため、今後は最適な人数や効率的な準備・片付けなどを模索していく予定です。

今回は8割が茨城県内からの参加者となりました。今後もホームページやメーリングリストによる広報活動を行い、多くの方に受講していただけるよう努めていきたいと思っております。

最後になりましたが、本セミナー開催のためにご尽力いただきました医師、看護師、ファシリテーターの皆さま、会場をお借りしております茨城県立医療大学に感謝申し上げます。

北海道

一般社団法人北海道放射線技師会 常務理事 阿部 恭兵

2023年5月20日(土)・21日(日)、北海道科学大学で告示研修(実技)が開催され、2日合わせて89人の方にご参加いただきました。北海道科学大学を会場として使用するのは今回が初めてとなりましたが、大学関係者の皆さまのご協力もあり、無事に研修を終えることができました。関係者の皆さまには心より感謝申し上げます。

会場は、講義視聴のための1会場と実習のための2会場、計3つの会場を使用して開催されました。実習のための2会場については床の養生が必要ないということで、事前の準備と終了後の後片付けがいつもより短時間で終わることができ、開催者側としてはとてもありがたかったです。北海道放射線技師会としては17、18回目の告示研修ということもあ



り、ファシリテーターの方々の熟練度も上がり、事前準備も含め実技研修は非常にスムーズに運びました。

今後も北海道各地のファシリテーターの皆さまと協力し、より多くの方に受講していただけるよう努力していきたいと思っております。参加者の皆さま、関係スタッフの皆さま、大変お疲れさまでした。



山梨県

一般社団法人山梨県診療放射線技師会 会長 宮崎 旨俊

2023年5月27日(土)・28日(日)の2日間、山梨市民会館で告示研修(実技)を開催致しました。山梨県では4回目の開催となります。これまで土曜日だけの1日開催でしたが、土曜日に診療する施設に勤務する会員から「日曜日も開催してほしい」という要望があり、また新型コロナウイルスの感染拡大のため、やむなく2023年2月に開催できなかったこともあり、初めて連続2日間の告示研修を開催致しました。本年度から実技研修に医師ならびに看護師の立ち合いが必要ではなくなりましたが、山梨県におきましても初めてファシリテーターのみで実技研修を行いました。ファシリテーターのこれまでの経験と実績から、円滑に滞りなく研修が遂行できたことを報告させていただきます。

毎回、40人前後の受講者ですが、これまで会員の約3割が受講を修了しています。一方、2022年度の告示研修では毎回約半数が山梨県の会員でしたが、今回は2日間とも山梨県の会員が3割余りと大きく減少しています。要因としましては、

東京都や首都圏で開催される告示研修の申し込み予約がすぐに埋まってしまうことから県外からの受講者が多いこと、山梨県の会員の関心がやや落ち着き始めている傾向にあることの2つが考えられます。また予約が満席になっても、当日の受講者が48人から40人程度になってしまうことが残念ではありません。他県でも同じような状況でしたら、課題の一つとなりますので見直しが必要かと考えます。

山梨県ではファシリテーターの養成数が伸びておらず、現在活動しているファシリテーターの負担が大きくなっていることが課題です。今後は喫緊の課題としてファシリテーターの養成に注力していくとともに、会員の受講機会を増やすべく開催回数を確保し、改めて県内会員に告示研修の受講の呼び掛けをさせていただくなどして、受講者数を増やしていきたいと考えています。最後に、告示研修の開催にご尽力いただいた山梨県の役員、教育委員、ファシリテーターの皆さまに、この場をお借りして感謝申し上げます。

英文誌 Journal of JART –English edition 2023– 配信のお知らせ

このたび、英文誌 Journal of JART –English edition 2023–を配信致しました。本誌の内容は、学術コンテンツとしまして、JART会誌へ掲載済みの論文・寄稿の中より優れたものを掲載しております。

※英文誌 Journal of JARTは、会員の皆さまに電子配信とさせていただきます。以下の本会Webサイトより、ご自身でダウンロードくださいますようお願い致します。

本会ホームページの“会誌・投稿”の“Journal of JART –English edition–”からダウンロードできます。

ダウンロード URL は、<https://www.jart.jp/journal/jart-en/index.html> です。



「Journal of JART –English edition–」 J-STAGE 掲載のお知らせ

「Journal of JART –English edition–」は、J-STAGE(科学技術情報発信・流通総合システム)に掲載し、論文を会員内外に広く発信しています。J-STAGEは、国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)が運営する電子ジャーナルプラットフォームです。論文検索など有効にご活用ください。

INFORMATION

診療放射線技師のための フレッシュャーズセミナー 開催報告

秋田県 (ハイブリッド開催)

公益社団法人秋田県診療放射線技師会 副会長 川又 渉

2023年5月21日(日)、令和5年度 公益社団法人秋田県診療放射線技師会フレッシュャーズセミナーが開催されました。新人の参加者は8人でした。本県は、新人のみを対象とするあまりに人数が少ないため、フレッシュャーズ・リフレッシュャーズと題して、ベテラン技師も参加可能としています。そのためリフレッシュャーズも合わせて16人の参加で開催しました。本県では、タイトな年間スケジュールの中でフレッシュャーズのために日程を取ることが難しく、ここ数年は、県の学術大会と同日に開催しています。午前中は学術大会に参

加してその雰囲気を感じていただき、午後からは必須講義が詰め込まれています。毎年思うことですが、新入職の方々はとて初々しく、基本的な講義ではありましたが、皆、真剣に耳を傾け、メモを取るなどしていました。

コロナ禍からの流れでハイブリッド開催としていますが、やはり新人の方々とベテラン技師が顔を突き合わせて情報交換をするという意味では、会場型一本で開催したいと感じており、次回以降の課題であります。

埼玉県

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会 常務理事(総務) 今出 克利

2023年5月28日(日)、埼玉会館7B会議室で「診療放射線技師のためのフレッシュャーズセミナー (SARTセミナー)」が開催されました。新人診療放射線技師を対象にした本セミナーは、埼玉県診療放射線技師会がSARTセミナーとして企画し、運用を開始してから24回目の開催となりました。近年では、日本診療放射線技師会と埼玉県診療放射線技師会との共催により例年5月に開催しています。

本年度は、3年ぶりとなる会場集客型として開催することができました。開催に際しては、日本診療放射線技師会より示された「新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた本会主催の講習会などの対応について」に準じて感染対策を講じました。リクルートスーツに身を包んだ新人の診療放射線技師42

人に参加していただきました。田中会長のあいさつに始まり、朝から夕方まで濃密な講義が行われました。埼玉県開催の特徴として、JART指定の講義とは別に、臨床技術に則した講義(一般撮影・消化管撮影・CT・MRI)が含まれており、撮影法だけではなく読影力向上に向けた内容を講義しています。多くの受講生が真剣なまなざしで講義を受け、メモを取っている姿が印象的でした。

最後に、参加者およびセミナー開催に尽力いただきましたスタッフの皆さまに感謝するとともに、講師の皆さまには日々の臨床業務が大変な状況であるにもかかわらず、講義資料およびスライドを作成していただきまして、ありがとうございました。この場をお借りして御礼申し上げます。



埼玉県診療放射線技師会 田中会長



講義風景

千葉県 (Web開催)

一般社団法人千葉県診療放射線技師会 教育委員 伊藤 等

2023年5月28日(日)、千葉県診療放射線技師会では診療放射線技師のためのフレッシューズセミナーをWeb (Zoom Webinar) を使用) で開催致しました。

昨年度までは千葉県救急医療機関一覧に基づき、県内152施設に案内状を送付していましたが、本年度は千葉県病院名簿に基づき県内209施設に案内状を送付し、申込者数は昨年度の59人から86人に激増しました。修了者は69人でしたが、年々増加しています(昨年は46人)。また既卒者も多く参加(35%)しており、このことに関しては講義内容が充実しているためであると自負しております。

セミナーの内容は開催要綱に従い、「エチケット・マナー」「医療コミュニケーション」「感染対策」「被ばくと防護の最適化」「医療安全」「気管支の解剖」「入会案内」の7科目を行いました。

Web開催することにより、県内の遠方や県外、既卒者の

参加も年々増加しています。しかし、対面方式と違い参加者の顔が見えないため、コミュニケーションが取りにくいデメリットもあります。今後は会場開催とWeb開催のメリット・デメリットを考慮して、開催方法を検討していきたいと考えています。



コロナ禍を過ぎて



2023年5月8日に、新型コロナウイルス感染症が感染症法上の「いわゆる2類相当」から季節性インフルエンザと同等の5類感染症になりました。世界保健機関(WHO)も5月5日に新型コロナウイルスの「国際的な公衆衛生上の緊急事態」の解除を発表したことで、3年3カ月にも及ぶ感染症の世界的騒動も一区切りついた感があります。

新型コロナウイルスは、2019年12月に中国湖北省武漢市で最初に感染および感染拡大が確認され、翌年1月には瞬く間にパンデミックと呼ばれる世界的状況を引き起こしました。WHOは2020年1月30日に緊急事態を宣言し、ウイルスの封じ込め対策や感染者の早期発見、接触者の追跡などを各国に求めてきたところですが、日本国内ではタレントの志村けん氏をはじめ、有名人の中にもお亡くなりになる方が続いたことで一気に緊張感が高まり、国民皆マスク、アクリル板や消毒液、表面温度計などが日常に溶け込む風景となっていました。しかし、3月13日にマスク着用を自主判断に委ねる決定が出され、5月の5類移行で原稿執筆時点(5月12日)の筆者の過ごしている

街では、すでに半数近くがマスクを外している感があります。

本会でも多くの会議、講習会などのイベントを、この3年の間にWebに移行してきました。街はコロナ以前に戻ってきていますが、本年度事業計画でもe-ラーニングと事業のDX推進を宣言しています。長かったコロナ感染症まん延の期間を経験して、イベントをWeb開催するメリットが明らかになっています。Web開催は会員の勤務地や自宅で受講できることから、交通事情に恵まれない地域会員の負担を排除できます。このことは全国に会員を持つ職能団体として会員受益を考えると、決して後戻りできないと考えています。イベントの実施委員会・分科会では、これまでと違う開催方法に混乱もあったと思いますが、ほぼWeb開催に移行できています。協力いただきました関係各位に、この場を借りて御礼申し上げます。

本年度のスローガンでもある“期待される役割に応えられる診療放射線技師”となれるよう、参加しやすくなったイベントにより多くの皆さまのご参加を頂きますと幸いです

(文責：江端 清和)

INFORMATION

最終回 第39回日本診療放射線技師学術大会 (39th JCRT)
第30回東アジア学術交流大会 (30th EACRT)

熊本への道 Go To KUMAMOTO

副実行委員長 尾野 倫章

(一般社団法人熊本県放射線技師会 常務理事 学術担当)

「肥後もっこす」と「わさもん」

「熊本への道 Go To KUMAMOTO」も最終回となりました。今回は、熊本県民の県民性について紹介させていただきます。

熊本県人の気質を表現した言葉に「肥後もっこす」という言葉があります。純粹で正義感が強く、一度決めたら^{てこ}頑固でも動かないほど頑固で妥協しない性質のことをいいます。

第39回日本診療放射線技師学術大会におきましても、「肥後もっこす」の精神で、皆さまにご満足いただける学会運営ができますよう誠心誠意準備を進めております。

また熊本県民気質を表す他の言葉に「わさもん」という言葉があります。これは新しいもの好きという意味で使われる言葉です。熊本県民は新しいものも好みます。今回、学会が開催される熊本城ホールのお隣の複合商業施設、SAKURA MACHI Kumamotoがオープンした際は、タピオカドリンクの店が数時間待ちになったというエピソードがあり、熊本県民の「わさもん」ぶりを説明するのに十分であるかもしれません。

頑固で保守的である「肥後もっこす」と、新しいものを好む「わさもん」。一見、相反するものようですが、言い換えれば、一本筋が通りつつも新しい物事にも柔軟に対応できる県民性といえます。

私は生まれも育ちも熊本ではないのですが、熊本県人のそのような筋が通りつつも柔軟で、かつ人間味に^{あふ}溢れた県民性に魅了されました。

前回までの「熊本への道 Go To KUMAMOTO」で、熊本の地域・観光・グルメ・歴史などを紹介してまいりました。それらを体験いただきつつ、肥後もっこすでわさもん気質の熊本県民と、ぜひ現地で触れ合っていたきたいと切望しております。熊本の魅力を十二分に味わっていただけたらと思います。文章だけでは熊本の多くをまだまだ伝えきれません。ぜひとも熊本の地へ足を運んでいただき、皆さまの五感で熊本を体験、満喫していただきたいと思います。

皆さまと熊本の地でお会いできることを、実行委員一同、楽しみにしております。





第39回 39th Japan Conference of Radiological Technologists

日本診療放射線技師学術大会

会期 | 2023年9月29日[金]～10月1日[日]

会場 | 熊本城ホール
 [ハイブリッド開催]
 〒860-0805 熊本県熊本市中央区桜町3-40

会長 | 上田 克彦
 [公益社団法人 日本診療放射線技師会 会長]

大会長 | 西小野 昭人
 [一般社団法人 熊本県放射線技師会 会長]

主催 | 公益社団法人 日本診療放射線技師会

共催 | 一般社団法人 熊本県放射線技師会

後援 (予定) | 厚生労働省 / 日本放射線技術学会
 熊本県 / 熊本市

～タスク・シフト/シェアに伴う業務拡大を推進しよう～

復興の地から
 はじまる
技術革新



©尾田栄一郎/集英社

熊本地震から復興に向かう熊本に対して尾田栄一郎氏から「必ず助けに行く」というメッセージをいただき「ONE PIECE 熊本復興プロジェクト」が立ち上がりました。復興が進む熊本で学術大会を開催するにあたり、地震からの復興を応援するために「ONE PIECE 変わらの一味」の銅像を使用させていただきました。

大会事務局



一般社団法人熊本県放射線技師会

〒861-8528 熊本県熊本市東区长嶺南2-1-1 日本赤十字社熊本健康管理センター 放射線課内 TEL・FAX (096)386-1388

診療放射線技師のためのフレッシューズセミナーのお知らせ

INFORMATION

プログラムは、エチケット・マナー・医療安全・感染対策・気管支解剖・胸部撮影基礎（都道府県により違いあり）など、現場ですぐ役立つ知識です。会員・非会員を問いません。

日程と会場については変更される可能性がありますので、詳細は、都道府県技師会までお問い合わせください。

■フレッシューズセミナー開催予定：

和歌山 7月 2日(日)	長崎 7月 7日(金)・9日(日)		
山梨 7月 8日(土)	長野 7月 8日(土)	大分 7月 8日(土)	山口 7月 9日(日)
福井 7月22日(土)	富山 7月23日(日)	岐阜 7月29日(土)	奈良 7月29日(土)
島根 7月29日(土)	宮崎 7月29日(土)		

7月・8月の講習会などスケジュールのご案内

INFORMATION

- 放射線被ばく相談員講習会： Web開催 2023年7月23日(日)
- 放射線治療分科会生涯教育セミナー(治療計画・乳房編)：茨城 2023年7月29日(土)
- 国際認定試験(MRI)： 郵送による試験を予定 2023年8月27日(日)

*このご案内の公開時に、定員に達して申し込みができない講習会・セミナーがある場合がございますのでご了承ください。

- 告示研修(実技研修)／業務拡大に伴う統一講習会／診療放射線技師基礎講習 基礎技術コース(会場型)：
 本会ホームページの「ニュース・お知らせ」またはJART情報システム(JARTIS)をご参照ください。

【e-ラーニング(ストリーミング方式)】

- 告示研修(基礎研修) 2026年3月31日(火)午後11時59分まで申し込み受け付け
 ※お申し込み成立の日から告示研修終了まで何度でも視聴いただけます。
- 人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針オンラインセミナー 2027年3月31日(水)午後11時59分まで申し込み受け付け
 ※配信を再開しました。
 ※お申し込み成立の日からセミナー終了まで何度でも視聴いただけます。
- 認定資格の取得を目指す在宅講習受講生の募集について ・ラダーレベル3 2023年7月10日(月)午前0時から12月15日(金)午後11時59分まで申し込み受け付け
 ※各認定資格試験終了日(2024年1月)まで何度でも視聴いただけます。
- 認定資格失効者講習会(在宅) 2023年12月22日(金)午後11時59分まで申し込み受け付け
- 放射線診療に従事する者に対する診療用放射線の安全管理のための研修(在宅) ※お申し込み成立の日から2024年1月27日(土)まで何度でも視聴いただけます。
- オンラインセミナー(在宅)：本会ホームページの「ニュース・お知らせ」またはJART情報システム(JARTIS)をご参照ください。

JART求人広告掲載について

INFORMATION

会誌に掲載する診療放射線技師募集の求人広告を随時受け付けております。申込書ならびに募集要項につきましては、本会ホームページ(各種資料・手続き→各種様式→その他)よりダウンロードしてご確認ください。

なお、掲載月の前月5日が掲載申し込みの締め切りとなっております。

事務所
案内

執務時間：月曜日から金曜日の午前9時30分より午後5時30分まで。
 ただし、土曜、日曜、休日、祝日、創立記念日(7月13日)および年末年始(12月29日～1月3日)は執務致しません。